

PRESS MATERIAL

横浜に誕生する 禅と文化の発信拠点

「熊澤別邸 空庵」 グランドオープン

アート・食・宿泊を通じて、日本の美意識を伝える新たな空間



静けさ、余白、禅の思想に触れる。

2026 年 8 月 26 日 プレス発表会配布資料

熊澤別邸 空庵 | Kumazawa Bettei KUUAN

熊澤別邸 空庵

1. 熊澤別邸 空庵とは

禅・庭・建築・工芸・食・滞在をひとつの体験として編み直す、少人数限定・完全予約制のプライベート禅邸宅です。

豪華さを競うのではなく、静寂、間、余白、自然との対話を通じて、日本文化の核心に触れていただくことを目指します。横浜にありながら都市の喧騒から離れ、国内外の賓客、文化志向の旅行者、企業経営者、ファミリー、少人数の特別な集いに場を提供いたします。

本物性	非公開性	精神性	滞在価値
禅・庭・工芸・仏教美術の 統合	一棟貸し・完全予約制・ 少人数	静けさと空間を体験する 設計	茶・食・宿泊・文化体験の 組合せ

空庵が目指すもの

- 横浜・鶴見に、禅を軸として日本の美意識を国内外へ発信する、少人数限定・完全予約制のプライベート文化拠点。
- 庭、建築、鎌倉彫、仏教美術、茶、食、宿泊を一つの物語としてつなぎ、日本文化を深く味わう滞在体験を提供。
- 見学、会食、宿泊、企業リトリートなど、利用目的やゲストに応じて、滞在時間と体験内容を個別に設計。
- 禅・文化・滞在に、ピククルボールによる軽運動と交流を取り入れ、心身を整える新たなウェルネス体験を提案。
- アートを展示にとどめず、「KUUN-AN Art Platform」として企画展や作家交流へ展開。

鶴見に生まれる必然性

鶴見は、近代以降の日本において禅文化の重要な拠点となってきた土地です。曹洞宗大本山總持寺は、1898（明治 31）年に能登で起きた大火を契機に再建と移転が検討され、1906（明治 39）年に鶴見への移転が正式決定、1911（明治 44）年に現在地へ移りました。移転候補地となったのは、鶴見の成願寺の地でした。

その移転に尽力したのが、現在も鶴見・西寺尾にある曹洞宗寺院、建功寺です。空庵が位置する東寺尾と建功寺のある西寺尾、そして大本山總持寺は、同じ鶴見の中で禅の歴史と文化によって結ばれています。

熊澤別邸 空庵が鶴見にあることは、単なる立地上の選択ではありません。總持寺の移転以来、禅が根づいてきた地域の記憶を受け継ぎ、庭・建築・工芸・食・滞在、そして身体を整えるピククルボールを通じて、禅の精神を現代の体験として展開することに、この地に生まれる必然性があります。

空庵が考えるラグジュアリー

過剰な演出ではなく、沈黙・光・庭・素材・季節が調和する「静けさのラグジュアリー」。

2. 禅の思想と、庭・建築の空間

訪れる方の呼吸や思考が自然に整うよう、庭、石、植栽、窓景、室内の空間を一体として捉えています。

枡野俊明氏の禅思想・作庭哲学に響き合う世界観として、静寂を空間全体の中核に据えています。



禅の思想・所作・余白を想起させる世界観

体験を「点」ではなく「流れ」で設計

到着時のウェルカム、作品鑑賞、庭を望む時間、食事、滞在までを慌ただしく区切らず、一連の物語として構成します。

「何を見るか」だけでなく、「どのように感じるか」を大切にします。

空庵で過ごす時間

到着	静かな迎え入れ、ウェルカムドリンク、空庵の思想の紹介
鑑賞	庭・光・素材とともに、工芸・仏教美術の背景に触れる
食と会話	季節を感じさせる食事と自然に生まれる会話
滞在	静かな夜と朝を通じ、時間の流れを整える

3. 工芸・仏教美術と KUU-AN Art Platform

空庵の文化的な要素を支える柱が、鎌倉彫の三橋頭幽氏、仏教美術の奥西希生氏による作品群です。

作品を単なる装飾ではなく、禅の世界観へ入るための入口として位置づけます。



工芸・仏教美術・静寂が一体化するギャラリー空間

要素	伝えるストーリー	体験価値
鎌倉彫	木に刻まれた線、漆の層、武家文化と禅の簡素さが交差する鎌倉の精神	工芸を「見る」から、素材・時間・精神性を感じる体験へ
仏教美術	祈りと静謐を造形に表す行為としての作品	美術鑑賞を超え、心を整える私的な対話へ
ギャラリー	作品、光と影、沈黙が一体となる空間	海外ゲストにも伝わる、禅とアートの私的な出会い

今後の展開 | 企画展、作家との交流会、コレクター向けプログラムなどを通じて、禅と現代文化をつなぐ発信を行います。

4. 提供する主な体験

予約の際にご要望をお伺いし、目的、人数、時間に合わせて内容を組み立てます。庭・茶・食・宿泊・アートに加え、敷地内のピックルボールコートを活用した軽運動や交流も組み合わせることができます。以下は代表的な利用イメージです。

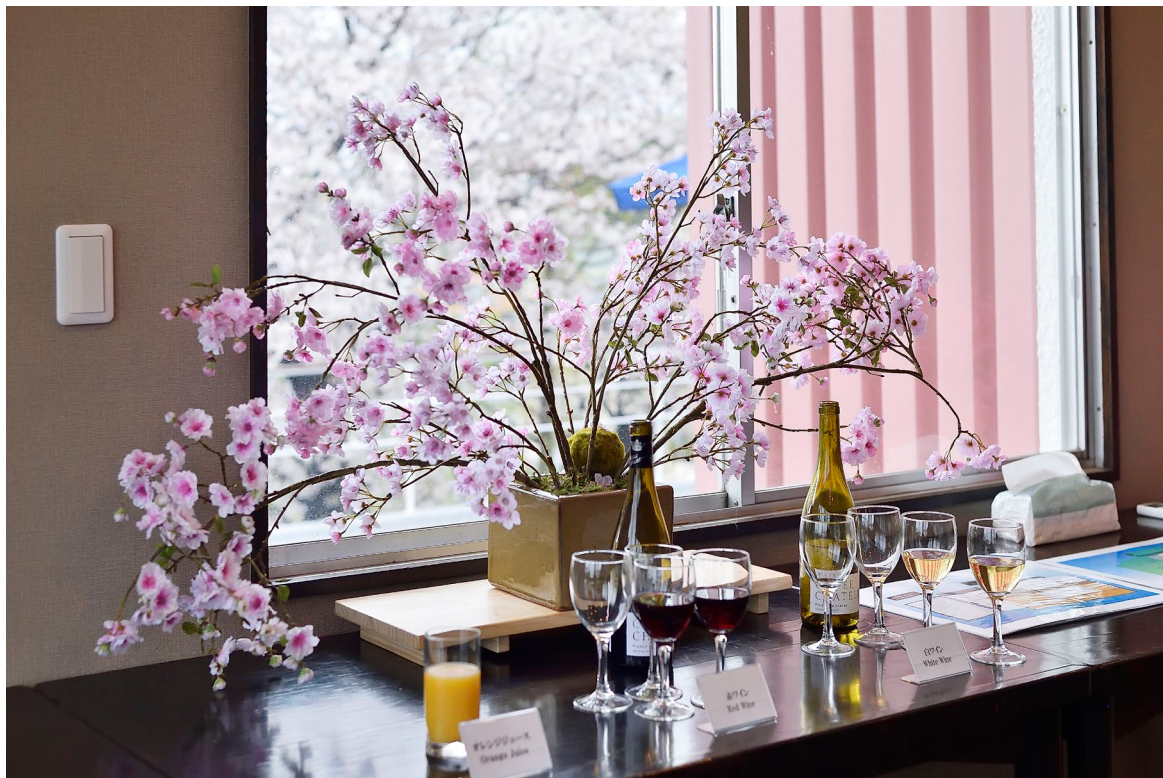
プログラム	時間	主な内容	想定ゲスト
Zen Cultural Program	半日～1 日	座禅、茶道・香り・ 鎌倉彫体験、日本庭園の案内、 出張シェフによる食事	海外富裕層、海外 VIP、 文化志向の旅行者
KUUAN Zen Art Journey	半日	禅思想に基づく、鎌倉彫・仏教 美術の案内、茶道体験	文化志向の旅行者、 コレクター、経営者
Creative Location Program	半日～1 日	広告、ファッション、企業 映像、雑誌、対談収録、映画、 YouTube などのスチール・動画 撮影	広告・映像制作会社、出版社、 企業、クリエイター
Executive Retreat	半日～1 泊	会議、レクチャー、ヨガ・ ピックルボール体験等を 組み合わせた非公開リトリート	企業役員、オーナー企業、特別 会合
Zen & Cruise Retreat	1～2 泊	横浜港の PRIVATE CRUISE 座禅体験、出張シェフによる 食事、宿泊	国内外の富裕層、国内外 VIP

モデル滞在 | 2 泊 3 日

- Day 1 夕刻：ウェルカムドリンク、邸宅・庭・作品の案内、プライベートディナー
- Day 2 午前：短い座禅または瞑想、ヨガ体験
- Day 2 午後：鎌倉彫・仏教美術の作品ストーリーを巡る Zen Art Journey
- Day 2 夜：季節の食と会話、庭を望む「豊穣の夜」
- Day 3 朝：庭を眺めながらの朝食後、次の目的地へ

5. 食・会話・しつらえ

食の時間も、空庵を構成する文化体験のひとつです。豪華な演出を前面に出すのではなく、庭、作品、会話、季節感が自然に調和することを重視します。茶、軽食、会食、宿泊時の朝食まで、ゲストの目的に合わせて設計します。



庭を望むしつらえと、滞在型ラグジュアリーの情緒

運営の基本姿勢

- 静寂とプライバシーを守る完全予約制
- ゲストのプロフィールや目的に応じたカスタマイズプラン作成
- 通訳、送迎、食事の手配
- 近隣環境に配慮した少人数での運営

報道関係者の皆さまへ

空庵は、宿泊施設、ギャラリー、会食会場のいずれか一つに分類される場所ではありません。禅の思想を軸に、庭、建築、工芸、食、滞在を横断して、日本の美意識を現代の体験として伝えることを目指しています。

6. 施設概要

名称	熊澤別邸 空庵 / Kumazawa Bettei KUUAN
所在地	〒230-0077 横浜市鶴見区東寺尾 3-16-9
形式	少人数限定・完全予約制のプライベート邸宅
宿泊	2 室、最大 4 名を想定
主な機能	庭、ギャラリー、レセプションルーム、和室、ダイニング、キッチン、ベッドルーム、バスルーム、ピククルポールコート
想定利用	VIP 接遇、文化体験、プライベート会食、宿泊、企業リトリート、少人数イベント
対応方針	人数、時間、食事、通訳、送迎などは事前相談のうえ個別に提案
公式サイト	https://zenkuuan.com/



空庵での静かな禅体験

歴史記述の参考

建功寺公式サイト「大本山總持寺と建功寺の関係」／曹洞宗大本山總持寺デジタルアーカイブ「總持寺の歴史－所蔵史資料からみる－」

English Introduction

Kumazawa Bettei KUUAN is a private Zen residence in Yokohama, created for guests seeking a quieter and deeper encounter with Japan. Through garden aesthetics, craft, art, seasonal dining and private residence-style stays, KUUAN offers an intimate gateway to Japanese culture shaped by stillness, authenticity and thoughtful hospitality.

KUUAN Private Zen Residence